

IQ・SPECT を用いた心筋シンチの有用性の検討

[研究対象者の方へ]

九州大学病院において心筋 SPECT 検査を行う患者さんが、本研究の対象となります。

[はじめに]

心筋 SPECT 検査は、虚血性心疾患の診断やリスクの層別化などにおいて有用な検査であり、心カテーテル検査前の非侵襲的な検査の一つとして重視されています。しかしながら、十分な検査を行うためには、1 日法で午前と午後にそれぞれ 30 分弱の検査時間がかかり患者さんの負担は小さくありません。2010 年 4 月、九大病院核医学・PET センターに全く新しい概念を取り入れた IQ・SPECT システムが導入され使用可能となりました。検査時間を大幅に短縮できるとされていますが、臨床使用 data に乏しく試行錯誤で検査が行われている状態です。とくに体格の小さなアジア人での臨床使用は皆無に等しく、早急な data の蓄積を行い日常臨床に応用していく必要があります。当研究では IQ・SPECT で撮像された画像を従来法と比較して、至適な撮像プロトコルを確立することを目的としています。検査時間の短縮は RI 投与量の削減にもつながり、患者負担を大幅に減少させることが期待されます。

[研究内容]

九州大学病院の核医学・PET センターにおいて心筋 SPECT 検査を行う患者に対し、IQ・SPECT を追加して前向き試験を行います。心筋 3 軸の SPECT 画像、極座標表示(ブルズアイ像)、QGS 画像を、従来法と IQ・SPECT について比較します。

[研究期間、登録症例数]

2011 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日(3 年間)

[医学上の貢献]

IQ・SPECT の有用性が証明されれば、検査時間の短縮、患者被ばくの軽減が予想されます。

[研究機関・組織]

九州大学病院放射線科	教授	本田 浩 (責任者)
	講師	阿部光一郎
	准教授	長尾 充展
	助教	馬場 眞吾
	医員	磯田 拓郎
	大学院生	丸岡 保博
保健学科	教授	佐々木雅之

連絡先:九州大学大学院臨床放射線科学分野 阿部光一郎

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

TEL: 092-642-5695